

地域密着型金融推進計画（平成24年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、コンサルティング機能を発揮した中小企業者や個人のお客さまの金融の円滑化、地域の面的再生への積極的な参画、地域の皆さまへの積極的な情報発信、皆様からのご意見の収集等に取組んでいます。

これらを実践していくために、本部と各営業店が一体で情報の共有化を図るとともに、お客さまの立場にたった適切な経営相談や経営支援等のため、役職員の知識向上に向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫との連携強化 制度融資の活用 発明協会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業支援センター等の活用やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化を図っていく。 制度融資を積極的に活用していく。 地域の発明協会等との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業支援センターやベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化を図るべく努めていますが、中小企業支援センター等を活用する案件はありませんでした。また、ベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化について取引事例はありませんでしたが、引き続き積極的な対応を行っていきます。 創業・新事業支援は、積極的に県の制度融資を活用しました。結果として4件16百万円の実行となりました。 渋川市発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に協賛し「北群馬信用金庫理事長賞」の授与を行い 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 ・当地域のお客さまと東日本大震災の被災地域との連携、ビジネスマッチングを支援していく。 ・しんきんビジネスマッチングサービスの活用により、信用金庫業界内で、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 	<p>ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等（金庫会員組織）によるビジネスマッチングを積極的に活用し、情報仲介機能の発揮等お客様のニーズに応えられるよう取り組んでいます。 ・昨年しんきん会青年部で被災地域である気仙沼市に視察・支援活動に伺ったところ、今年8月の渋川山車祭りに太鼓の演舞を披露にお越しいただきました。これらの行事等の交流を足がかりに被災地域との連携、ビジネスマッチングに今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。 ・「ビジネスマッチングサービス事務取扱要領」を策定し、ビジネスマッチングに関する顧客の要望に対応することにより、顧客サービス及び顧客満足度の向上に努めています。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営者塾的な組織の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の方への支援策として経営者塾的な組織の創設を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者塾的な組織の創設等については検討中です。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流の研修会への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月28日に東京ビジネスサミットの視察をしんきん会会員を中心に実施予定です。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 ・外部機関との連携 <p>(3) 経営改善が必要な顧客企業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善が必要な企業に対する取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 ・引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 ・金融円滑化融資対象先に対して、経営目標の実現や経営課題の解決を図るための方策を踏まえた経営改善計画書の策定指導・策定支援を地道かつ積極的に取組む。24年度は本部(経営支援室・融資部・債権管理部)において64先以上を対象先として実施する。 ・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで条件緩和に積極的に取組む。 ・企業の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢を整え取組んでいます。 ・群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等を行っています。当金庫では14名のサポーターにより中小企業者の方へのきめ細かな対応に努めており、コンサルティング機能の発揮により中小企業の経営支援を行っています。 ・金融円滑化最終延長を踏まえた出口戦略として65先を対象先として取組みの強化を図っており、経営改善計画書の策定支援を行ってきました。経営改善計画書の策定はほぼ終了し、今後、顧客企業の経営改善に向けた取組み状況の把握をするため、本部・営業店一体となって顧客企業を訪問して実態把握を行っています。 ・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な先について経営改善計画書策定支援も積極的に行い(57先実施)、実態に合った返済計画への変更を行なっています。実績としての条件変更債権数は327口4,950百万円でした。 ・定期的にモニタリングを実施していますが、コン 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>・大口の設備資金融資先企業等への期中管理の強化</p> <p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業</p> <p>・事業再生の早期着手に向けた取組の促進</p>	<p>営業店と本部（融資部・経営支援室）が一体となり積極的な経営支援を行う。</p> <p>・経営支援により債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンの防止を図る。</p> <p>・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等については、融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有する。計画の進捗状況をお客さまとのヒアリング等により把握し、計画を達成していくため支援を行っていく。</p> <p>・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定支援を行う。</p>	<p>サルティング機能を更に発揮して顧客企業の経営改善に向けたソリューションの提言を行っていきます。本部は、営業店を臨店して担当者のスキルアップを図る指導を繰り返しており、また、営業店担当者とともに顧客企業を訪問して、本部・営業店一体となって個社別の問題点を把握し顧客企業の経営改善のために取組んでいます。</p> <p>・顧客企業を訪問して実態把握に努めることで経営者からの本音を聞き出し、現状直面している問題点を一つ一つ解決することで債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンを未然に防止すべく努めています。24年度上期はランクアップ2先、ランクダウン1先となりました。</p> <p>・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等は、中小企業診断士協会、税理士、経営相談員等からの助言・提言の活用（第三者の知見の活用）も必要であり、当金庫でも融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有して顧客企業の経営改善に向けて取組みの強化を図っています。</p> <p>・抜本的な事業再生や業種転換が必要な顧客企業に対しては、当金庫で抜本的な経営再建計画の策定</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の持続可能性の見極め <p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用する。また、取引状況等に応じ第二会社方式での再生やDDS等も検討する。 ・事業計画に向けた経営者の意欲、経営者の生活再建、当該企業の取引先等への影響など、事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討をする。 ・あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業承継支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、㈱朝日信託との連携を図っていく。 	<p>支援を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会及び中小企業診断士協会等の外部機関との連携を図って事業再生のための経営再建計画の策定支援を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な事業再生や業種転換により経営の改善が見込まれる顧客企業には群馬県中小企業再生支援協議会と連携して取組んでおり、平成24年度上期に群馬県中小企業再生支援協議会と連携して支援している先は4件です。また、他金融機関と協調し、第二会社方式及びDDS等を念頭において対応している先は現状2先です。 ・事業の持続可能性が見込まれない顧客企業には、経営者の生活再建や当該企業の取引先等への影響なども考慮し、慎重かつ十分な検討を行うなどの対応を図っています。 ・後継者の有無や事業継続に対する経営者の意向を踏まえて、事業承継支援センター等との業務提携により適切なソリューションの提言をできる態勢を整えています。また、事業承継のニーズに対応するため、㈱朝日信託との利用をできる態勢を整えています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲渡・譲受の積極的な相談業務の取組み <p>(7) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種制度融資の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきんキャピタル㈱等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) ・県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 ・市町村小口資金を積極的に活用していく。 ・東日本大震災により被害を受けたお客さまに対し、本部と各営業店が一体となり引き続き積極的な支援を行っていく。 ・金融円滑化法の期限延長により、これまで以上にコンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給の確保に努める。 ・原則として経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の高齢化が進む中、後継者の問題はますます深刻化しており、当金庫ではしんきんキャピタル㈱等を活用して M&A のマッチング支援や顧問税理士による相続税相談を行っています。また、11月10日にはしんきんキャピタル㈱より講師を招き、事業承継等についての自主勉強会を開催する予定です。 ・24年度上期実績 <ul style="list-style-type: none"> 小規模企業事業資金 12件、57百万円 群馬県経営サポート資金 21件、231百万円 ・24年度上期実績 <ul style="list-style-type: none"> 27件、164百万円 ・24年度上期実績 <ul style="list-style-type: none"> 震災関連融資 2件、27百万円 ・24年度上期の金融円滑化法による中小企業に対する円滑な資金供給を行なった債権は327口、4,950百万円でした。また、住宅資金における債権数は10口、120百万円でした。 ・中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針に基 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>証を求めないことを原則とする融資慣行の確立</p> <p>(8) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み</p> <p>・人材育成</p> <p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取り組み</p>	<p>ととする融資慣行を確立していく。</p> <p>・目利き力向上等のための業界団体が行う研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。</p> <p>・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナーなどの資格取得により相談業務の充実を図る。</p> <p>・対話力、折衝力強化のため毎月2回の勉強会の実施（現場力の強化、職員のレベルアップ）。</p> <p>・渋川市商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費の拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券への協賛（商品券の換金事務）、販売時の職員派遣を行う。</p>	<p>づき、経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則として取扱っています。</p> <p>・外部研修へ22名派遣し、研修内容を毎月2回実施している勉強会時に受講者を講師として還元しております。</p> <p>・ファイナンシャルプランナー2級取得者 46名 通信講座受講者 29名 履修研修受講者 68名</p> <p>・毎月2回自主勉強会実施 平成24年9月末 12回開催済</p> <p>・今年度も、渋川市商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券に協賛、販売時には職員を派遣しました。換金は全て本店営業部にて取扱っています。なお、この取り組みが評価され、関東商工会議所連合会より「ベスト・アクション表彰」を受賞いたしました。</p>	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		24 年 度 上 期 実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川商工会議所と連携して同会議所が実施する円高等対策カウンセリング事業に協力していく。 ・ 平成 25 年カレンダーも前年に引き続き地域の名所等をテーマとするよう検討し、地域振興の一助とする。 ・ 地方公共団体への融資スタンスとして、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・ 地球環境に配慮したハイブリッド車、電気、天然ガス自動車の購入資金については通常金利より優遇して利用者拡大に取り組む。また、ぐーちよきパスポート、交通安全協会会員証のいずれかを提示した場合はさらに優遇する。 ・ ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための資金について通常金利より優遇するなど普及に努める。 ・ 渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫元役員を渋川商工会議所に紹介し、中小企業カウンセラーとして巡回訪問を行っています。 ・ 平成 25 年のカレンダーには群馬県のパワースポットをテーマに図案化し、地域振興の一助とする予定です。 ・ 地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。他行の低金利攻勢等もあり 3 件、394 百万円の実行となりました。 ・ 積極的に顧客に紹介し利用推進を図りました。24 年度上期実績として 8 件 19,400 千円の実行となりました。 ・ ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための「きたしんリフォームプラン」を用意し、優遇金利を設けました。また、8 月 4 日には太陽光発電システムについての自主勉強会を開催し、職員の知識向上に努めました。 ・ 渋川広域ものづくり協議会に入会し、活動等を通じて新たな取引先の深耕を図っています。また、同協議会主催の「ぐんま山の日 2012in 小野池」に 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士による税務相談 ・金庫職員等による金融知識の普及 ・交通安全指導の実施 ・町内道路清掃活動への参加 ・地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 ・営業店の高齢者等対応店舗への改装 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 ・金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・児童・生徒の通学路で登校時間に横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典等に積極的に参加していく。 ・高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 	<p>共催し、環境美化活動を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24年度上期中の相談内容は、相続税 11 件、贈与税 9 件、源泉税 4 件、法人税 3 件、所得税 5 件、他 7 件、合計 39 件でした。 ・平成 24 年 12 月、平成 25 年 1 月に外部機関より講師を招き、金庫地域の小学校にて金融知識の普及のための講話を行う予定です。 ・継続的に実施しています。幸い横断歩道付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝されています。 ・多くの職員を参加させるなど地域の道路周辺美化に貢献しています。 ・「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、地域住民の方々からは、そろいのゆかたや法被が定評となっており、当金庫の参加を期待されています。 ・視覚障がい者の方の利便性向上を図るため、スロープ等の設置を検討中です。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		24年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターによる支援充実 ・がん検診普及のピンクリボン運動の実施。 <p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 ・お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客様支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動を実施していく。 ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて発信していく。 ・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様支援及び満足度の向上のため、各営業店において認知症サポーターとしての知識を実践しております。 ・「がんを知る展」を11月中に渋川南支店、前橋支店、沼田支店の3店舗で行う予定です。がん検診等の受診率向上に努めます。 ・地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて、積極的に情報発信しています。 ・営業地域での全戸訪問を行い、同時にしんきん会等を通じて更にお客様の情報、収集に努めます。 ・ご意見、ご要望は可能な限り経営に反映させています。 	